

2020年度
世田谷区軟式野球連盟
大会規定・試合細則
日程について

[一般部]

世田谷区軟式野球連盟 S.B.B.L.

I 大会規定 (総則)

世田谷区軟式野球連盟特別規定

世田谷区軟式野球連盟主催の大会規則は、本大会規定以外は『公認野球規則』（公益財団法人全日本軟式野球連盟）発行の競技者必携の規定に準ずる。

- 1.各チームは試合開始 30 分前に大会本部にてメンバー表（3 枚提出）を照合する事。
照合印がない場合試合が出来ません。
- 2.試合に遅れてくる選手もメンバー表に記入してください。
- 3.追加選手の登録は、大会本部にて公益財団法人東京都軟式野球連盟指定の用紙に記入押印して登録料 600 円を納入してください。
- 4.本連盟チーム間での異動は同一年度内には原則認められない。但し、チーム間での協議が成立している場合はこの限りではない。
- 5.不正登録チームに対する処置
 - 1) 試合中に不正が発覚した場合は、対戦相手チームに勝ちを与える。
 - 2) 試合終了後に不正が発覚した場合は、次の対戦チームに勝ちを与える
 - 3) 決勝戦終了後に不正が発覚した場合は準優勝チームに勝を与える。
 - 4) 不正を行ったチーム及び、選手には規律委員会より相当の処分を科す。
- 6.試合時間は「80 分」とする。
- 7.両チームの選手が整列し、握手をした時を試合開始時間とする。
- 8.正式試合の回数は 7 回とする。
但し、時間制を採用しているので時間を優先する。
 - 1) 上記採用に伴い、正式試合回数を定めない。
 - 2) 本連盟では、全ての均等回数の得点によって勝敗を決する。
勝敗が決しない場合は特別延長戦（タイブレイク方式）を行う。（1 死 2 塁・3 塁で継続打順とする）但し、投手が走者となった場合、前位の打者を走者とすることができる。
 - 3) 雨天等により試合が中断された場合は、大会本部の決定に従うこと。
 - ①試合時間が 50 分を過ぎている場合は成立試合とする。
 - ②イニングが 4 回を超えている場合に於いても成立試合とする。
この場合均等回の得点をもって勝敗を決する。
 - ③上記以外は特別継続試合とし、翌大会日の第一試合の前に行う。
但し、日程の都合上変更する場合もある。
- 9.得点差によるコールドゲームは全試合に採用する。
3 回以降 10 点差・5 回以降 7 点差とする。
- 10.ベンチは、抽選番号が若い方が一塁側（後攻）とする。
- 11.グラウンドルールは各面の担当審判員に確認をし、審判員の指示に従う事。
- 12.抗議については、監督、または主将と当該選手以外の抗議は認められない。

- 13.放棄試合はいかなる理由があろうとも認められない。
- 14.次の行為を行った選手に対しては理由の如何を問わず直ちに退場をさせる。
チーム関係者であっても同等の処置をとる。
 - 1) 試合に関連し、暴力行為を行った者。
 - 2) 試合に際して、暴力行為等によりフェアプレーの精神に明らかに違反した者。
上記行為をした者、及びチームに対しては、規律委員会より相当の処分を科す場合がある。
- 15.大会使用球については、本連盟が指定したボールを公認球とする。
- 16.ユニフォーム及び用具について。
 - 1) 監督、選手は同色、同形、同意匠のユニフォームを着用しなければならない。
 - 2) ユニフォームの背中には、算用数字で0～99の背番号を付けなければならない。
監督は30番、主将は10番とする。
 - 3) ユニフォームの袖の長さは両袖同一とし、左袖には都道府県名をつけても良い。
但し、マーク等は付けられない。
 - 4) ユニフォームの背中には選手名をつけても良い。
 - 5) 捕手は公益財団法人全日本軟式野球連盟公認のマスク・捕手用ヘルメット・レガース・プロテクターを着用する事。また、ファウルカップの着用を推奨します。
 - 6) 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認のマーク（J S B B）のないバット及び劣化・損傷があるバットは使用できません。
木製バットに関してはJ S B Bのマークが無くても使用できます。
 - 7) 打者・次打者・走者・ベースコーチは公益財団法人全日本軟式野球連盟公認のヘルメットを着用する事。
- 17.相手チームや審判員に対する聞き苦しいヤジは厳禁する。
- 18.壮年部の大会については、上記大会規定以外の特別規定を設けていますので、詳細については壮年部特別大会規定に従う事。

II 試合細則

- 1.試合開始予定時刻
会場毎に指定する時間にて開催すること
- 2.試合はスピーディーに行い、攻守交代は速やかに行う事。
- 3.投手が捕手のサインを見るときは、投手板について見る事。
- 4.投手は捕手からの返球を受けたら直ちに投手板を踏んで投球体制に入ること。
- 5.投手の準備投球は初回8球以内とし、2回以降は4球以内とする。(1分以内とする)
- 6.守備終了後はボールをマウンドに置いてベンチに戻る事。(雨天時はこの限りではない)
- 7.打者は、投手が投球位置にいる、いないに関わらず速やかに打者席に入ること。

- 8.打者がサインを見るときは、打者席からとし、思うがままに打者席を外すことは許されない。
- 9.次打者はヘルメットをかぶり次打者席にて待機する事。
- 10.内野手間の転送球は初回のみ認める。
- 11.タイムは1分間を限度とする。但し、審判員が認めた時はこの限りではない。
- 12.タイムの回数制限について。
 - ①1試合3回までとする。(攻撃時・守備時)
 - ②マウンドに二人以上の野手が集まった時は1回とする。
 - ③選手交代の為に集まることはこの限りではない。
- 13.ファウルボールについては、攻撃側またはボールの飛んだベンチ側で取りに行き、汚れを落として球審に渡す事。
- 14.審判員の判定に対する抗議は厳禁とする。
- 15.グラウンド以外でのキャッチボール、トスバッティング等は禁止する。禁止場所でのような行為をして通行人などに怪我をさせた場合チーム若しくは当該者の責任となりますので十分注意してください。
- 16.ベンチには、チーム責任者、監督、コーチ、スコアラー、選手以外は入れません。
子供、乳幼児はベンチに入れず安全な所で応援させてください。
- 17.足を高く上げてのスライディング、及び作爲的な空タッグは禁止する。
- 18.プレイヤーが塁上に腰を下ろすことを禁止する。
- 19.ホームラン等で走者を出迎える時は、自軍ベンチ前のみとし、本塁上及び走路付近に出ることを禁ずる。
- 20.サングラスの着用は認めるがミラーレンズ及び帽子のひさしの上の着用は禁止する。
- 21.投手はリストバンド(サポーター・手袋)等の使用を禁止する。尚、負傷などによりやむを得ず必要とするときは審判員の許可を得るものとする。
- 22.勝利チームは試合終了後、グラウンド整備をする事。
- 23.試合に勝利したチームの責任者は、大会本部にて次の試合日程の確認をすること。

Ⅲ クラス編成について。

1.一般部

1部・2部・3部とする。

2.壮年部 (40歳以上で編成するチーム)

40歳以上とは、基準日は4月1日現在です。(例)40歳になる誕生日が5月とか12月では登録できません。

IV 昇格、降格について。

1. 1部への昇格 年度内開催完了大会2部優勝チーム。
 2. 2部への昇格 年度内開催完了大会3部優勝・準優勝のチーム。
- ※上記以外に、各クラスのチーム編成状況、及び試合結果等により連盟にて推薦昇格する場合があります。
- 推薦昇格チームで、チーム状況により、昇格を望まない場合は連盟事務局に申し出てください。
- ※年度内に大会が終了できなかった大会の昇格は、大会完了年度の翌年となります。
- ※区民体育大会は昇格の対象外となります。
- 3.降格については採用しない方針ですが、チームからの申し出があった場合は連盟役員が協議して決定する。

V 王座決定戦出場規定

- 1.王座決定戦は年度内最後の大会とし、年度内に開催された大会（1部・2部・3部）の優勝・準優勝・三位及び連盟推薦チームを出場資格チームとする。

VI 試合を棄権する場合について

- 1.試合を理由なく棄権、及び大会本部に連絡せず無断で棄権をした場合は役員で協議の上何らかの処分を科す。
 - 1部・・・棄権の翌年は2部へ降格。
 - 2部・・・棄権の翌年は3部へ降格。
 - 3部・・・連盟役員の協議の上処分を科す。

VII 大会日程の確認について

- 1.大会開催の有無、組合せ、日程、日程変更、結果につきましては連盟ホームページにて確認ください。

<https://sbbl.tokyo>

※日程変更などの確認は各チーム責任を持って行ってください。

※大会の進行状況により、日程の変更もしくは試合時間の変更を行うことがあります

2.ホームページ以外の確認方法

- 1) 大会開催日は下記あてに連絡ください。

070-3185-4778

連絡時間 9:00～15:00

VIII 壮年部特別大会規定

1. 規定は世田谷区軟式野球連盟大会規定による。
2. 代打について
 - ① 10人制野球を採用する。
 - ② 10人目の選手は守備につくことはできない打者のみとする。
 - ③ 打順は10番とする。
 - ④ 選手交代は通常の交代と同様である。
 - ⑤ 10人目の選手をすべて交代させた後に先発メンバー（9人のうち）1人が怪我をして出場できない状態が発生した場合に限り10人目の選手を負傷選手に変わり交代して試合を続けることができる。
 - ⑥ 10人野球の採用についてはチームの選択とする。
(メンバー表に採用、有・無を記載し本部に提出する)
3. 壮年部と他のクラス（1部・2部・3部）に参加しているチームで、試合が同日に重なった場合、日程の変更はいたしません。
但し、同じ時間での試合となった場合は日程調整をさせていただきます。

1999年 1月 作成
2013年 1月 一部改正
2014年12月 一部改正
2016年 1月 一部改正
2017年 2月 一部改正
2020年 1月 一部改正
2020年 2月 一部改正